

非営利法人ニュース

2017年
11月号
Vol. 58



発行 公益総研 非営利法人総合研究所
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814
編集協力 (特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

★★ お勧めセミナー情報 ★★

【1】NPOが得か？社団が得か？法人設立セミナー

*どの法人格が向いているのか、メリットとデメリット・税制の違いなどを説明

- 講師 福島 達也
(田園調布学園大学講師・(特非)国際ボランティア事業団 理事長)
- 日時 平成29年11月15日(水)
午後2:00~4:00(受付1:45~)
- 会場 東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル1階会議室
(新橋駅烏森口より徒歩8分・御成門駅より徒歩5分)
- 定員 先着8名まで 徹底指導(最少催行人数3名)
- 受講料 3,000円(1名分・税・テキスト代含む) *事前振込

★★ 返済のない奨学金のお知らせ ★★

(公財)公益推進協会から 生活困窮家庭向けの奨学金のお知らせです！

『群馬県在学中学3年生対象 高校奨学金募集中！！』 トヨタ部品群馬共販 P&H奨学金

- 募集期間：2017年11月30日まで
- 応募条件：交通遺児であること
- 採用人数：2018年度の奨学生は3名(予定)を採用とする。
- 給与期間等：高校3年間(36か月)、月額2万円を支給します。
入学一時金5万円

※詳しくは、財団ホームページ(<http://kosuikyoo.com/>) をご覧いただき、
申込書等はHPよりダウンロードし、必要事項を記入して提出してください。

★★ 遺贈の窓口からのお知らせ ★★

●相続する人がいない、または相続人が放棄したお金は、すべて国に没収となります。その額、毎年400億円を超えています。
しかし、遺産を社会的に有意義な事業に使ってほしい、という気持ちを遺言書に残しておく、法律にもとづく法定相続に関係なく、ご自分の意思を生かすことができます。この遺言による財産寄付を「遺贈」といいます。
公益財団法人公益推進協会では、「自分の名前をつけた基金」を作る遺贈によるご寄付を承っております。死後、ご自分の財産を自分の名前の基金に変え、自分の考える公益的な社会貢献活動に役立ててほしいとお考えでしたら、ぜひ、遺言書を作成し、受取先を「公益財団法人公益推進協会」とご指定ください。



◎情報満載！今月のもくじ◎

セミナー&奨学金情報	1
遺贈の窓口情報	1
非営利法人関連情報	2,3
CEOコラム	4
編集後記	4

★セミナー&奨学金申込方法★

【1】NPOが得か？社団が得か？ 法人設立セミナー

→特定非営利活動法人
国際ボランティア事業団
TEL 03-5405-1813
FAX 03-5405-1814
メール npoinfo@iva.jp

■必要事項

- ①参加日
- ②参加者氏名
- ③団体名
- ④案内送付先郵便番号、住所
- ⑤電話
- ⑥ファックス
- ⑦メールアドレス

【2】奨学金

応募用紙等郵送先
〒105-0004
東京都港区新橋6-7-9
新橋アイランドビル2階
(公財)公益推進協会
P&H奨学金
担当 高野宛 以上

★遺贈の窓口からのお知らせ

公益財団法人公益推進協会
TEL 03-5425-4201
FAX 03-5405-1814
メール info@kosuikyoo.com
HP <http://kosuikyoo.com>

「Amazonで恋人が買える時代来る？」

公益総研株式会社 主席研究員兼CEO
公益財団法人公益推進協会 代表理事
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也



いまアメリカも小売業界が業績悪化に苦しみ、大量閉店に追い込まれているらしい。つい先日もおもちゃの「トイザラス」が破たんしたことも記憶に新しいが、そのほかスポーツ用品店など専門店の経営破綻も相次いでいるのだ。また、日本でも根強い人気があるラルフ・ローレンは、昨年6月に従業員約1000人の削減と約50店の閉鎖などを盛り込んだ事業再編計画を発表したが、急成長が伝えられていた衣料品大手のギャップやアバクロンビー・アンド・フィッチも売り上げ減に歯止めがかからないらしい。

アメリカのネット通販は2004年以降、6年ごとに2倍に増えて、2016年末には小売り全体の8.3%を占めるまでにいたっているという。つまり、ネット通販の普及で、小売業そのもののビジネスモデルが瀬戸際に立たされているといっても過言ではない。ちなみに、2016年のアメリカにおけるオンライン購買の43%は、アマゾンのサイト内で行われている。もしかしたら今年は50%を超えるかもしれない・・・。恐るべしAmazon!

もちろんこれは対岸の火事ではない。日本にも同様の事態が起こりつつあるのだ。デパートも、ハロウィン、バレンタインデー、ホワイトデーなどのイベントで和洋菓子の消費を喚起してきたが、主力の衣料品は大苦戦しており、さらに衣料品以外にももちろん大苦戦が続いている。日本百貨店協会の調査によると、16年の売上高は5兆9780億円、1980年以来36年ぶりに6兆円の大台を割り込んだようだ。そりゃそうだ!

誰だって、何かが欲しいと思ったら、とりあえずネットで価格を調べるのが当たり前の時代だ。お店でお目当て物を前にして「これって安いのかな?」と思ったら、店頭で自分のスマホを出してちょっと調べれば、瞬時のうちに、ネット通販の価格が調べられるわけだ。店先で「19800円で大変お得!」とか「今なら5割引!」と書いてあっても、実際スマホでちょっと調べてみたら、Amazonがそれよりもずっと安く売っていたなんてことはよくある話だ。

だから、小売店は大量閉店が今や当たり前となっているので、シャッター商店街なんてのはまだ甘い話で、そのうち、駅前の廃墟デパート群とか郊外にある心霊スポットショッピングモールなんてのもどんどん出てくるだろう。今日もどこかで「150店を閉鎖」とか、「日本からの撤退」というニュースが流れているはずだ。

恐らく今後は、小売店の倒産や撤退がいたるところで起こり、不動産市場を変調させ、金融市場の波乱要因になる恐れがあるだろう。人口減と相まって、不動産バブルがはじける日も近いとみた。

それをあざ笑うかの如く、毎年右肩上がり伸びているのがネット通販市場だ。日本国内の消費者向けネット通販市場は15兆1358億円に拡大(前年比9.9%増)しているようだ。分野別では最もプレーヤーの多い物販系通販が7兆2398億円で前年比6.4%増。ホテル予約などサービス分野系は同9.4%増となる4兆9014億円。デジタル分野が同8.1%増の1兆6334億円なのだ。

さらに、皮肉にも、物流や倉庫での雇用は急増していて、都市部の店舗の雇用は減少する一方で、ネット通販が雇用創出をしてくれるので、IT業界全体の発展もあり、何とか失業率の低下には歯止めがかかっている。まさにネット通販大繁盛時代なのだ!

とはいえ、ネット通販業界も左うちわ状態というわけでは負いられない。

通販業界では送料無料が当たり前になってきており、その分の負担は増える。さらに、消費者は最安値のサイトを検索し、価格が一番安かったサイトで購入する傾向が増えているため、ネット通販業界もライバルの価格を見ながら値下げを日々行わなければ生き残れないから、利益はどんどん少なくなっているのだ。ただ、中国の消費者がインターネットを通じて日本から商品を購入する「越境通販」が増えているようで、その規模は、2016年で前年比30.3%増の1兆366億円と、今話題のインバウンド消費(買物代)を大きく上回り、さらに拡大も予想されるというのだ。どおりで「爆買い」という言葉があまり聞かれなくなったし、でっかい段ボールを抱えている中国人を見なくなったと思ったら、ネットで爆買いをしていたのか・・・知らなかった。

さて、それでは日本の小売業はもう終わりなのか? 路面店はみんな閉店するのか?

私は生鮮食品などを扱う飲食料品店とコンビニとガソリンスタンド以外の小売業は、申し訳ないけど全部なくなると思っている。電気屋も自転車屋も自動車販売店も修理専門になるだろうし、デパートはもちろんだが、洋品店、かばん屋、靴屋、薬局、文房具屋、家具屋、めがね屋、おもちゃ屋、楽器屋、スポーツ用品店、ペットショップ、雑貨屋も消えてなくなるだろうと思っている。ウソだ〜?と思う人もいるだろうが、とんでもない! 実際、私の住む(湾岸地域)家の周りには、コンビニとスーパーとガソリンスタンドしかお店なんてない。それでもまったく困ったことはない。あとはすべてネットで買えるからである。

じゃあ、日本の小売業(お店)がネット通販に駆逐されずに生き残ることはできないものだろうか? うーん、かなり難しい・・・残れるとしたら、消費者にネット通販ではできない「体験」「おもてなし」「おまけ」などの、礼儀正しく配慮の行き届いた心のこもったサービスを提供するしかないだろう。そうしたサービスを強化することでネット通販にはない買い物の楽しさを提供しないとたちまち閉店に追い込まれるだろう。本当に世知辛い世の中なのだ・・・。

そうとなると、これからはネットで何でも買える時代が来るのかもしれない。

家や車はもちろん、恋人だってネットで選ぶ時代が来るのかもしれない。

もしかしたら、「喜び」「悲しみ」「怒り」「諦め」「驚き」「嫌悪」「恐怖」「嫉妬」などの感情もネットで買う時代が来るのかも・・・。

待てよ! 今日家に帰ったら、うちのカミさんが「イケメンの旦那」をネットで買っていたらどうしよう・・・

そしたら、ネットで「怒り」と「諦め」でも買うしかないか・・・いや、「喜び」と「期待」もカートに入れなくっちゃ(笑)

編集後記
大変ご無沙汰しております。最近は一雨続きで体調不良になりがちですが、読者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。さて、今回は「食」についてです。皆様小中学校は給食だった方が多いと思いますし、私もそうでした。給食って当然温かいものが配膳されて、一斉にいただきます! が当たり前と想っていましたが、そうとも言えないようで・・・。そもそも給食そのものがでない県があり、弁当持参が基本とのこと。諸事情があるのはわかりますが、両親が働いていると特に大変ですね。私の実家も自営業なので、親の大変さがわかります。税金はこういうところに配分して上手に使って欲しいですね。よくわからない選挙とかにはではなく。(しらすぎ)